

Think of Next

CSR報告書

Vol.11 2023



特集

多様性の時代で働く現場女子たち

トピックス、NEXT 10 Targets、CSR7つの中核課題



■中特グループ スローガン&ロゴマーク■

まちと未来をキレイにする仕事。



企業理念

使命

「私たちは生活環境革命で人々を幸せにします」

基本姿勢

1. 私たちは、私たちを取り巻く全ての人々に誠実に接します
2. 私たちは、時代の風向きに敏感に反応し、いかなる時代が来ようとも存続します
3. 私たちは、共に地球に暮らす一員として、社会のために役立つ存在となります

行動指針

1. 明るく元気に
2. 迅速丁寧
3. 目配り気配り思いやり
4. ピンチはチャンスプラス思考

目指すポジションNo.1

- 社員の幸せNo.1
- お客様の満足No.1
- 社会に貢献No.1
- 未来の創造No.1

多様性の時代で働く現場女子たち



出席者（座談会メンバー）

橋本ふくみ：中特グループ CEO

伊藤 一美：（株）吉本興業 スマイルグループ（一般廃棄物・資源物の収集運搬）

尾崎 優衣：（株）リライフ 再資源化グループ（受入廃棄物・成果品の分析）

河内 七彩：（株）ポータルハートサービス 主任（遺品整理・片付け）

田中 麻衣：中国特殊（株）SB グループ（解体工事施工管理）

田中 由美：（株）リライフ リサイクルグループ（産業廃棄物の選別作業）

聞き手：林 美咲：（株）中特ホールディングス 未来創造グループ（企画広報）

特集 多様性の時代で働く現場女子たち

多様性の時代で働く現場女子

中特グループを働く場所として選 択した理由とは？

橋本 皆さん、お楽しみ様です。現在では、人間一人ひとりの個を尊重し、様々な価値観を共有しようという多様性の社会、多様性の時代と言われています。その中で、私が経営目標として掲げている女性社員比率も既に大きく上回り、現在32.8%となりました。そこで、本日は中特グループの現場最前線で活躍されている女性社員の皆さんの代表として、ぜひ生の声を聴きたい



橋本ふくみ CEO

と思い集まっていたきました。どのような話が聴けるか大変楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

林 まず、そもそも皆さんが中特グループに入社したきっかけを教えてくださいいただけますか。

田中麻 私は尊敬する職人さんたちと一緒にできる仕事をしたいという考えで、施工管理の資格を取りました。6、7年前、子どもがまだ幼稚園の時に海岸清掃ボランティアに参加したのですが、その際に一緒に参加されていた中特グループの女性の方たちがすごく和気あいあいとされていて、良いなあと思ったことがありました。後にCMを見たり新聞で記事が出たりと、とにかく名前を見る機会がすごく多く、転職を考えて求人票を見た時にはもうここしかないなと。この会社だったら女性でも男性と変わりなく、頑張れば頑張っただけ評価してもらえるかなという気持ちで選びました。

河内 私は9年前広島大学の就活中に「山口県フェア」があると知り参加しました。環境学を学んでいたので、環境に携わる会社はないか

と探していたところ、環境企業として記載されていた中特グループがありブースに行つてみました。そこで、インターンシップがあると誘われて参加し、そのままの流れで面接に行きました。面接時は緊張で頭が真っ白になってしまったので、絶対不合格だと思っていたのですが、なんと無事に入社できたんです。

林 入社のきっかけも様々ですね。

現場での「あるある」とは？

林 次に現場ならではの「あるある話」などあれば教えてください。



河内 七彩

伊藤 パッカー車の運転や作業は男性と言う世間のイメージがあります。私は一人でダンボール回収をしているのですが、初めて行く所ではほぼ二度見されるんですよ。「お世話になります！」と、少々高めの声でご挨拶すると「ん？この人、何しに来たんだろ？」「みたいな感じで見られる時がよくあります。最初はちよつと視線が怖かったのですが、最近では挨拶すると笑顔で返してくれます。

河内 私の場合は、現場で慌ただしく作業している時に限って、よくお問い合わせの電話がかかってきます。



伊藤 一美



田中 由美

事務所で事務作業をしている時などは「今日は電話少ないね」と上司と話すのですが、現場に行った途端に電話が鳴りだして…。業務が立て込んでいる時に限ってのあるあるです。

林 他に業種ならではの「あるある」はありますか？

河内 遺品整理などの大きな案件の場合、ライターと小銭と電池がもう絶対百個以上あるんですよ。ものを溜め込みがちな人には、予備が無いとソワソワして買ってしまうなどの特徴があるようです。電池が

入っていると、バッテリー車に積み込んだ際に火災につながる可能性があるがあるので、それだけは絶対に阻止しなければなりません。なんとなく勘のようなものが働いて「この袋には電池が入ってるな」と思い中身を探ると、やっぱり入っているということも多いですね。また先日の現場では、事前の調査では見つからなかった床下の隠し部屋がありびっくりしました。

伊藤 燃やせるごみのステーション

回収時では、どうやってここまで持ってきたのかと思うくらい重い袋があります。男性や力がある方は一度に四袋ぐらい持てるのですが、私は引きずって車両に運ばないといけない。ごみ袋は購入しなくてはいけないので、主婦の目線からいくとやはり目一杯詰め込んでしまうのでしょうか。

女もいろいろ

林 他にも色々な苦労があるかと思えます。外の仕事だから夏・冬も大変ですね。

伊藤 吉本興業は、グループ会社の他社と比べると始業時間が一時間早いので、早朝より元氣な掛け声でラ

ジオ体操や朝礼をするのは近所迷惑じゃないかなとちょっと心配したりします。冬だと朝はまだ外が暗いのでさみしい感じがします。でも、私の場合は車の運転が大好きなので、いざ出勤すると元氣が出ます。

田中由 私は建屋の中での作業なので夏場はまだ涼しい方なのですが、屋外の日差しが厳しい場所です仕事している同僚たちは、汗でびちゃびちゃです。

林 ここまでは外の現場でのお話でしたが、屋内特有のつらいことはありますか？

尾崎 私は半分ぐらい外の現場で、半分ぐらい屋内で廃棄物の実験や分析をしています。分析室では臭気に気を遣っています。高いところに窓があり、開閉が大変です。他にも現場だと何かと一般的に男性用に作られていることが多いですね。私は一般の女性よりもさらに小柄なので、少し悩ましいです。欲しい物が高い所にしまっている事があるので、椅子に登って取ることもあります。

林 では今までのお話とは反対に、良かったことをぜひ教えてください。



林 美咲

伊藤 体力勝負の仕事なので、健康に気を付けるようになりましたね。早寝早起きになりましたし、暴飲暴食もなくなりました。他にも色々な道を知ることができたのも良かったです。例えば山間に行くと、この仕事をしなければ通らないような新しい道をどんどん開拓していけて、ドライブの際などに通ったり、抜け道を覚えたりして運転しています。すごく楽しいです。

尾崎 私は腕の力がつきました（笑）。ダチョウの餌が20キロぐらいあり、以前はヨタヨタしながら持っていたのですが、今では普通に持て

るようになりました。車の運転の機会も増え、運転の技術も上がりました。他にも最近では、現場の方から化学的な知識についての質問を受けるなど、お役に立つことが増えてきて良かったと感じています。

林 分析業務ができるリケジョだからこそその強みですね。皆さんほかに自慢できることがあったら教えてください。

田中由 私は好奇心旺盛なところが自慢ですね。以前はキックボクシングをやつてみたいと思いチャレンジしましたし、先日福岡の方にラーメンを食べに行きたいと思い立ち、二人で行って韓国や中国の方たちと一緒に行列に並びました。

橋本 その好奇心は仕事で活かしていますか。好奇心はすごい財産ですよ。例えば、廃棄物を見てどの様な状況で発生したのかなど、その先を考えてみることはありますか。

田中由 ありますね。これは何に使われてこんなに大量に廃棄されたんだらうかとか、何故まだ使えそうなのに捨てられたんだらうなどと考えます。

河内 私は学生時代にやっていた弓道をまた今やっているのですが、実は先月、柳井市民大会と下松市民大会で優勝しました。弓道は連盟が市町村ごとにあり自由参加なんです。

全員 すーい！（パチパチパチ）

橋本 また夢中になれることが復活して良いですね。引き続き頑張ってくださいね。

河内 頑張ります。

現場で感じた事

林 次に、皆さんが現場で感じる中特グループならではの良さはありますか？

尾崎 作業で困ることがあった時、いつも誰かが声をかけて助けてくれます。ライフの皆さんだけではなく、中国特殊や吉本興業に行った時も皆さん笑顔で迎えてくださり、すごくあたたかいなあ、というのを感じています。

橋本 尾崎さんがいつもニコニコし

ているからでしょう。私の場合はなぜか逆に頼られることが多いですね。羨ましい（笑）。

田中由 ほんと皆さん優しくくて、すぐ声をかけてくださいますよね。常にすごく元気いっぱいの方が多いですね。

田中麻 中国特殊の社内は、事務所にいるお二人がとにかく明るく元気です。現場から疲れて帰社した際でも「おかえりー！」と言われると思わず「ただいまー！」と返してしまいます。元気をすごくもらえて嬉しいです。

現場女子が抱く夢とは

林 今後の夢や希望など、将来やりたいことはありますか？

田中麻 女性なのによく頑張るねというくらいではなく、「女」がつかない、つかずに見てもらえるような管理者として皆さんから信頼してもらえたいです。私は毎日労働災害のニュースをチェックしているのですが、全国の現場で毎日といつていいくらい大きい事故が起こっているんです。一瞬の気の緩み

が原因で事故が起きていると思うので、そういうところにも目を向けられるような管理者になつていきたいですね。職人さんたちに「面倒くさいからいやだけど、田中さんが言うんだつたら現場のためと思つて言っているのだらう、従おう」と思ってもらえるようになりたいです。信頼される管理者になりたいなと思つています。

河内 私の場合、ありがたいことにお客さまが最初から「中特さんだから」と良いイメージを持ってくださっている方が多いので、その信頼を裏切らないように作業してい



田中 麻衣

なくては、と思います。もう少しこうしようというのを突き詰めて、よりきれいにできればいいなと思っています。

橋本 河内さんは今回のメンバーの中で、唯一個人のお客様が多いですね。他のメンバーとは求められるものも少々違うかもしれないですね。

河内 そうですね。ダイレクトにご相談されることが多いので、お話しやすい雰囲気を作って、相談して良かったと思ってもらえるようにしています。

田中麻 「河内ファン」と言われるリピーターがすごく多いと聞きましてよ。

田中麻 私はシングルマザーで子どもを一人で育てていますが、子どもがどのような進路を選んだとしても叶えさせたいと思っています。経済的な理由で「それはうちでは無理よ」と言いたくないので、仕事を頑張って収入を増やしたいです。子どもが間もなく進路を考える時が来るのですが、「女の子だからこういう夢」など、男女の性だけで判断し選んでほしくないと思っています。その

為にも母である私の姿を見せてしっかり伝えたいですね。目標を持って興味があることをやれば努力できるし、努力するから達成感が得られるし、達成感が得られるから自分も幸せ、周りも幸せになるというのを伝えていきたいと思っています。

橋本 自分がこう在りたいという姿がはつきりしていると、毎日何をしたら良いのか、具体的に描きやすくなりますよね。

田中麻 逆に今までがそうじゃなかったなので、この会社に入り、考え方がそういう風に変わったとすごく思います。

橋本 それは経営者としては大変嬉しい言葉です。私もますますやる気になりました！

田中麻 子どもには何も諦めてほしくないですね。ひとり親だからダメとは思わせたくないです。

橋本 親が見たり聞いたり考えたりしていることは、子どもには以心伝心で伝わります。私たちが毎日活き活きとした生活をする。それが何よりも一番の教育です。大人が頑



尾崎 優衣

張って輝いていれば子どもたちも嬉しくなるはずですよ。

林 由美さんの今後の目標はありますか？

田中由 中間処理をする際の、重機の運転技術を向上させていきたいと思っています。会社で重機の免許を取らせてもらって3年目ですが、もっと上手くなりたいと思っています。日々の作業でどのようにすれば効率よくできるのかというのが目標になっています。具体的に何分での作業ができたから、次は何分でやろうとか。

林 時間も見ているんですね？

田中由 大体見て、これなら何分ぐらいで積み込みができたから次はこの時間でやろうと、少しずつ目標を上げていっています。私がもう少し手際よく重機を動かせれば他の人の作業もやりやすいのではと考えています。

橋本 現場は安全対策をすればするほど一見効率が悪くなるのではというジレンマがあると思います。しかし、日々の安全意識や対策というのは、どうしても手を抜いてはいけません。安全を最優先にしながらいかに作業効率を上げていくか、難しいけれどとても大切なことです。

「らしや」とは？

林 最後になりますが、せっかくですから橋本さんに望むことや質問などはありますか？

尾崎 最近、現場女子が増えてきたと思います。女性はやはり力仕事で劣ってしまうというのがあると思うのですが、そういう中で現場女子に望むことはありますか。最近、「女性

特集 多様性の時代で働く現場女子たち

らしい」とはなんだろうと思つたので、お聞きしてみたいです。

橋本 尾崎さんの問題意識は今後、ものすごく重要になってくると思います。正直、なかなか難しい問題です。「男性」とか「女性」ではなく「適性」を基準に考えるのが良いのではないのでしょうか。また、「らしさ」であれば「人間らしさ、人間性」に行きつくのではないかと思います。

田中麻 女性だから細やかさがあるだろうとか、丁寧な仕事をするだろうというような良い方の決めつけもあります。でも丁寧な仕事をする男の人だっているじゃないですか。職人さんは几帳面で整理整頓もすごくきれいにされます。決めつけをなくするのは難しいですね。

橋本 今、世界的に過渡期で、色々な概念が大きく変わっています。中特グループにおいても柔軟に対応し、固定観念は取り払っていききたいと思っています。しかし、それを許容していくスピードは人によって違うのも事実でそれも理解したいとも思っています。

それも含めて多様性の時代を生きているということかもしれませんね。



やまぐち女性活躍応援団 地域シンポジウムin周南にて登壇しました

11月11日(金)周南市学び・交流プラザにて開催された「やまぐち女性活躍応援団 地域シンポジウムin周南」において(株)ポータルハートサービスの篠田直美が地元企業事例紹介として登壇し、自身の入社の経緯や現在取り組んでいることや課題などについてお伝えしました。また、山口大学副学長 鍋山祥子氏のファシリテーターによるパネルディスカッションでは山口県副知事 平屋隆之氏、周南市長 藤井律子氏、周南公立大学学長 高田隆氏、東ソー株式会社総務部勤労課課長 安増信夫氏と共に今後の女性活躍の目指す先についてお話しました。限られた時間ではありましたが、有益な議論が行われました。

周南市において、誰もが活き活きと活躍できる地域になることを目指して活動して参ります。



第1回「LINE WORKS 新しいワークスタイル大賞」を受賞しました

4月13日(木)、ビジネス現場のコミュニケーションツール「LINE WORKS」を提供するワークスモバイルジャパン株式会社が「LINE WORKS」を利用し「働く」にまつわる課題に対して取り組んでいる企業・団体を表彰する第1回LINE WORKS 新しいワーク

スタイル大賞の「想いが伝わる社内交流部門」として中特グループが表彰されました。コロナ禍による社員間のコミュニケーションの希薄化という経営課題の解決につながる活用方法や効果が分かりやすく、多くの企業が参考にしやすい点を踏まえて評価されました。



周南公立大学と包括連携協定を

締結しました

3月29日(水)、(株)中特ホールディングスは公立大学法人周南公立大学様と「地域における持続的な価値の創造、提供に関する包括連携協定」を締結いたしました。今後、地域社会の発展に向け相互に協力が可能な分野において、社会貢献活動の連携をはかりながら資源循環の仕組みの構築や地域の活性化につながるような活動を一緒に取り組んで参ります。

【締結内容】

- ① 地域活性化を創造する場の創出に関すること。
- ② 地域の環境課題の解決、資源循環の仕組みに関すること。
- ③ 地域での学びの機会の創出に関すること。
- ④ 地域の文化振興・健康増進に関すること。
- ⑤ 地域のダイバーシティの実現に関すること。
- ⑥ その他地域社会の活性化及び発展に資する事項。



Topics 2023

AT : 2022.10 ~ 2023.9

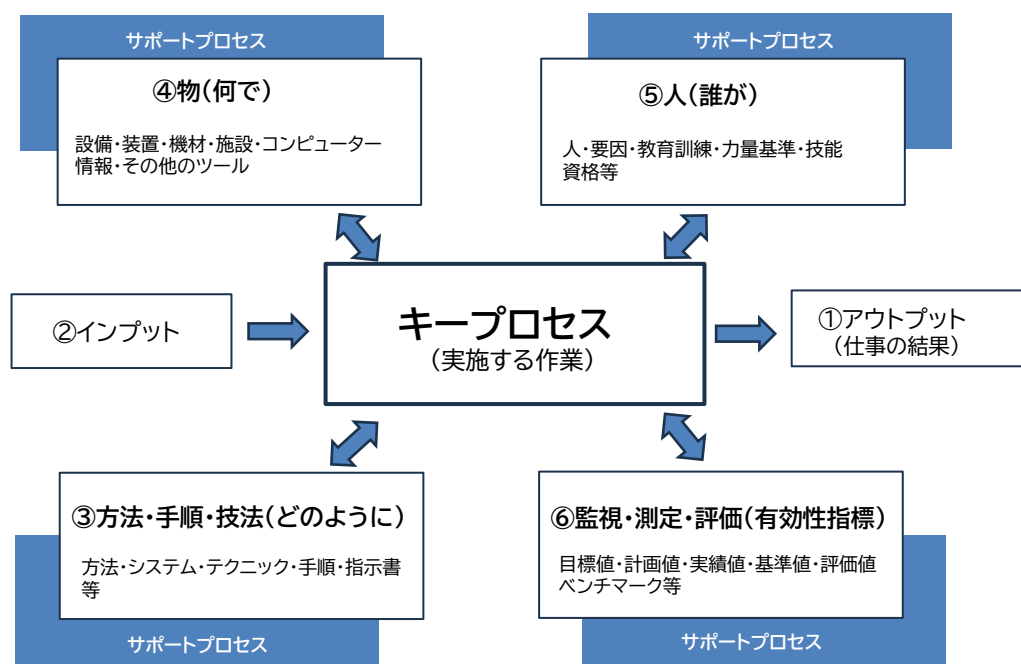


9月26日(火)、ISO9001
(品質マネジメントシステム)..
2015を全部門にて認証取得い
ました。2020年9月に(株)
リライフ下松リサイクル工場が先
行して取得していましたが、この
度を以って全部門での取得となり、
中特グループとして品質及びサ
ビスの向上を目指して参ります。

【認証取得までの取り組み】

- ①2022年8月品質委員会発足
- ②ISO9001の要求事項と業務
の関係性を整理
- ③仕事の全体像を見える化
- ④内部監査とマネジメントレ
ビュー

ISO9001(品質)を全部門にて認証取得しました



廃棄物でつくるアート作品が美術館にて

展示されました

2月21日(火)～3月12日(日)、
『廃棄物をもっと身近に・サステナブルを文化に』をコンセプトとする廃棄物アートの公募展 COIL Upcycle Art Contests にて選ばれた作品が、2023年3月12日までに熊本県宇城市にある不知火美術館において開催された企画展の「廃棄物に『見て・触れて・聴いてみると、新たな価値が見えてくる展』」にて展示され、2,233名の方にご来場いただき、廃棄物アートを「見て・触れ・聴く」機会を提供しました。



実際に親子でのご来場が多く、多くの親子に廃棄物アートに触

れていたきながら、子どもが感じる「これ知ってる!」「これは何?」といった、発見の力を育てる機会を提供しました。



6月24日(土)・25日(日)、徳山競艇場にて催された「グラチャンフェスティバル」でも廃棄物アート作品を展示しました。競艇場という、アートが今まで置かれることがなかった場所で、アートを展示し、サステナビリティに対する議論を投げかけたことに、私たちは大きな意義を感じています。

環境教育リーダー研修(環境省主催)が

行われました

10月19日(水)、環境省主催、文科省協力の「教職員等環境教育・学習推進リーダー育成研修」を昨年に引き続き開催しました。

当日は、学校教職員や行政関係、NPOスタッフなど環境教育に関心のある方々が実際に体験の機会の場にてプログラムを体験し、専門家による講



演、及び環境教育に役立つワークショップを実施しました。同様の取り組みに携わる人との交流や情報を得られ、気付きを参加者同士で共有することができ、大変有意義な時間となりました。



Topics 2023

AT : 2022.10 ~ 2023.9

NTT社員さま向け研修会にて

登壇しました

2月2日(木)、NTT山口支店において、社員様向け研修会にてCEOの橋本ふくみが「中特の進む道」と題して中特グループの成り立ちや取り組みについてお話しさせていただきました。当日訪問すると、エレベーターには研修会の案内も掲示されており、しっかりとご期待にお応えしなければと、より一層身が引き締まりました。聴講された方からは「身近な事に関連して非常にわかりやすく為になった」などのお声もいただきました。ありがとうございます。この様な場に立たせていただく事で、今まで行ってきたことの振り返りや未来に向けて何をすべきか



を改めて考えることが出来ます。貴重な機会をいただき感謝いたします。



終活セミナー講師として登壇しました

5月26日(金)、ポータルハートサービスの篠田直美が周南市老人クラブ連合会(輝きクラブ周南)よりお招きいただき、社会福祉協議会にて終活セミナー講師として登壇いたしました。当日は50名ほどの方が参加されまし



た。紙芝居にて「終活」について楽しみながらご理解いただいた後、これまで長く遺品整理や終活に携わってきた経験をもとに、モノ、お金、想いの整理が大切だというメッセージをお伝えしました。



NEXT 10 Targets

次世代のために果たすべき、中特グループの10の課題 【経営&ISO統合目標】

中特グループが地域社会に強く必要とされるために、次世代のために、環境のこと、社会のこと、子供たちのことを考えてグループで何をすべきか、あるべき姿に向かって取り組んでいます。2030年を見据え3カ年計画並びにTargetsを見直し、10の課題に取り組んでいます。

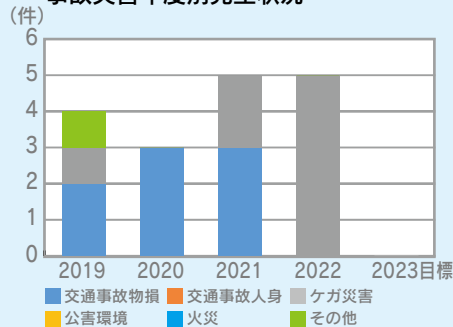
No.1 事故・災害の撲滅

事故・災害は常に“ゼロ”を目標に取り組んでいます。

大きな事故・災害は発生していませんが、①車両による軽微な物損②作業中の転倒などの小さなものが散発している状況です。2020年度3件、2021年度5件、2022年度は5件と横這いの状態が続き、残念ながら撲滅には至っていません。

今後もJBK（事故撲滅研修）・RA（リスクアセスメント）活動、KY活動その他の諸々の活動を行い、マナー運転、防衛運転を徹底して事故“ゼロ”を目指します。

事故災害年度別発生状況



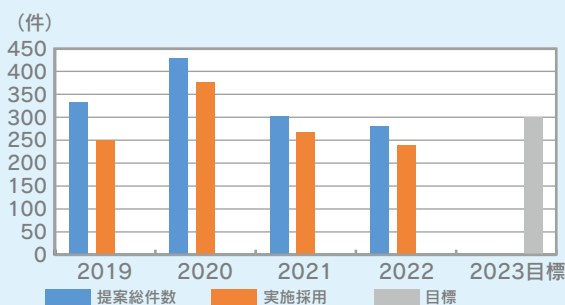
No.2 中特チームカイゼン活動

社員の業務効率化・コスト削減・省資源・省エネ・安全・環境美化向上を図るため、改善提案制度を導入し活動を行っています。

2022年度の実施採用件数は231件となり、目標の300件には届きませんでした。

2023年度は先般認証取得したISO9001の取組みとリンクさせることにより、内容（質）にこだわった改善活動を実施してまいります。

中特グループ改善活動(件)

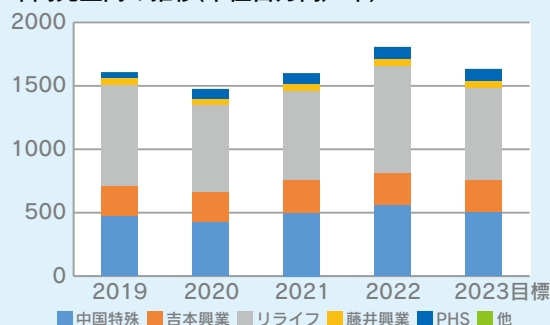


No.3 年間売上

2022年度の売上高は前年比13.1%増の18億円となりました。2023年度については16億円を目標とします。

これは今期の会社方針として「凡事徹底」のスローガンのもと“土台作り”に取り組む為です。“売上の確保”と“土台作り”を両輪で進め、確固たる基盤を築いて行きます。

年間売上高の推移(単位百万円/年)



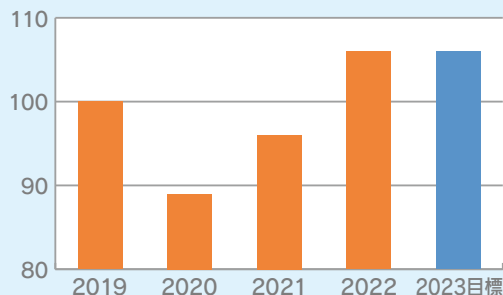
No.4 働き方改革、労働生産性向上



少子高齢化・労働人口減少の中、持続可能性を確保するために、少数精鋭、生産性の高い体質作りが重要と考えています。

「社員の幸せ No.1」を目指し、IT 活用・業務効率化を進めるとともに、ワークライフバランスの推進・社員の健康で充実した生活を後押しすべく、働き方改革を推進します。

(指数) ■ 目標 ■ 実績



No.5 お客様の声



私達の収益の根源は「お客様」です。

そのお客様の声にしっかりと耳を傾け、漏らさず拾い上げ、ニーズ（お困りごと）を捉え、活かすことで顧客満足度を上げることができると考えています。そのことが私たちのレベルアップにつながり、更なる顧客サービス向上につながります。

2023年度からはISO9001の運用とリンクさせ、より確実に「お客様の声」に対応していきます。

お客様の声収集（件） ■ 目標 ■ 実績



No.6 再資源化量の拡大

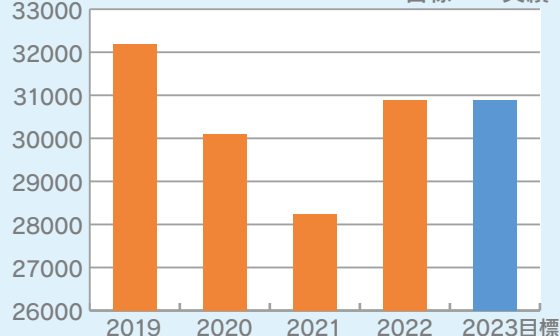


汚泥、固形廃棄物等の再資源化については、拡大を目標として取り組んでいます。

2022年度の再資源化量は、前年比9.4%増の30,900t/年となりました。

引き続き、再資源化量拡大に取り組んでまいります。

(t/年) ■ 目標 ■ 実績



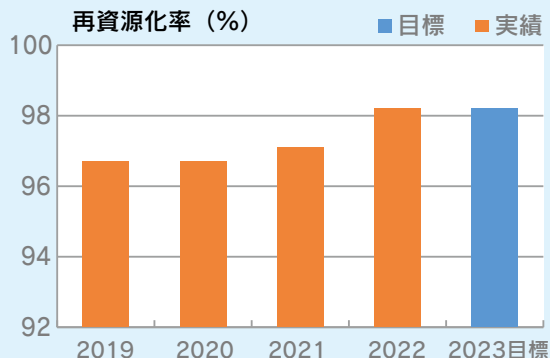
No.7 再資源化率アップ



地球環境の維持改善にわずかでも貢献するため、産業廃棄物の再資源化率を極力上げるように取り組んでいます。

2015年92%から向上を図り、2019年度・2020年度96.7%、2021年度97.1%とアップし、2023年度は98.2%となりました。

さらに向上を目指します。



No.8 多様性の尊重

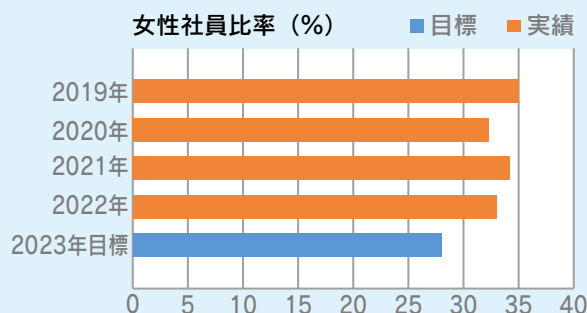


中特グループでは多様性・ダイバーシティを推進しています。

現在の女性比率は32.8%で採用数の関係もあり前年よりは低下しましたが、現場系作業に従事する女性は増加しており、活躍の場が広がっています。又、来年度の新卒採用においても4割が女性となります。

障がい者雇用については法令には該当しませんが、5%を目指して努力します。また、外国人雇用についても6%を目指して積極的に採用活動を行っていきます。

高齢者についても働きやすい環境整備に取り組んでいます。



No.9 健康経営の確立と健康増進活動推進

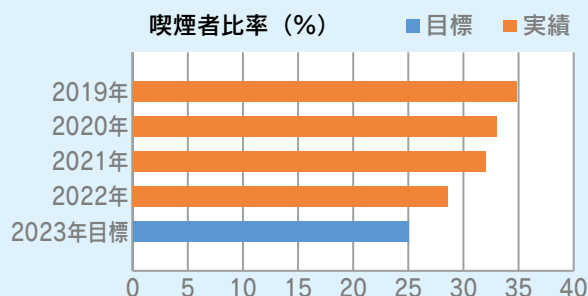


2021年1月に中特グループ全6社で「やまぐち健康経営認定制度」を取得し、継続・維持・向上を目指して活動を実施しています。

健康診断結果については100%フォローします。

安全衛生委員会では産業医の助言のもと、衛生面（こことからだの健康）向上を目指し、各職場の問題点を討議し解決する場としての活動を強化していきます。

社員の健康を鑑み、喫煙者比率の減少に取り組み、2019年34.8%から28.6%まで低下しています。



NEXT 10 Targets

No.10 ボランティア活動への参加



地域のイベント開催時の清掃および海岸清掃などの活動に対し、積極的にボランティア参加する活動を継続して実施しています。

2015年からは1人あたり年間5回以上の参加を目標にしていたましたが、2019年度以降、コロナ禍の影響によるイベント等の中止の為、活動の機会は大幅に縮小を余儀なくされてきました。2023年5月に制限が解除されたことを受け、それ以降延べ75人が各種のボランティアに参加しました。

また、土曜日の出勤日等を利用しての会社周辺の美化活動(ごみ拾い)も継続して実施しています。CSR(企業の社会的責任)の取組みの一環として、今後も継続・拡大を目指していきます。

「もったいない」を「ありがとう」に変えるフードバンク活動継続中!



私たちは、2019年8月より NPO 法人フードバンク山口しゅうなんステーションとして活動をスタートし、4年が経過しました。現在までに約20tもの食品の寄贈をいただいております。

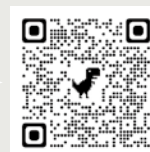
中特グループとしては、フードバンク食品倉庫の無償提供及び食品の仕分け作業やフードドライブ、啓蒙活動などに社員がボランティアとして参加しサポートしています。

食品ロス削減と経済的な不安を抱える方々への食支援につながるフードバンクの担う役割は日増しに大きくなってきています。しかし、活動にはたくさんの方のご支援やご協力が欠かせません。ご支援の方法は次の3通りです。

- 1 食品の提供
- 2 ボランティアとして参加
- 3 ご寄附や会員登録

寄付金のための決裁サービス「コングラント」導入しました

QR コードを
読み取り下さい



ぜひ、皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

詳しくは NPO 法人フードバンク山口 <https://fbyamaguchi.org/> まで



環境のために



「中特グループは、地球上の全人類及び地域社会とともに持続可能な発展をするために、環境保全に努め、環境に優しい企業活動を行う。」という考えのもと、地域環境活動を推進しています。

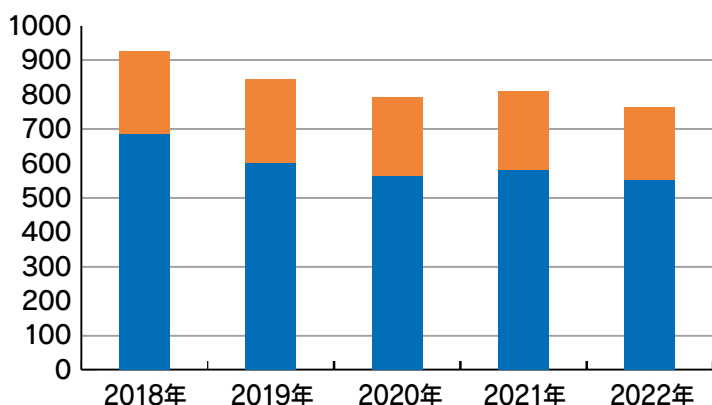
CO₂削減の取組み

日本の掲げる2050年カーボンニュートラル宣言、2030年までの削減目標に沿って、中特グループもCO₂削減を推進しています。

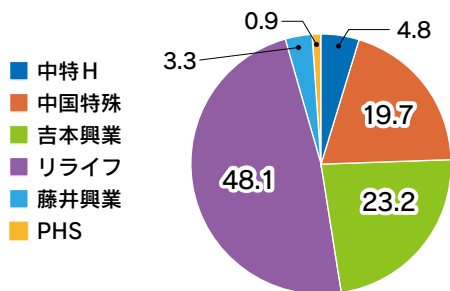
2022年度CO₂発生量は801t-CO₂/年となり、前年度比7.2%の削減となりました。今後も具体的な削減に取り組んでまいります。

尚、算出はSCOPE1・2の集計となります。

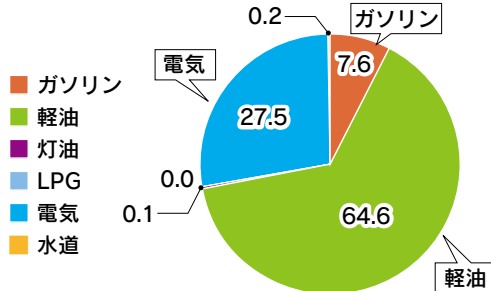
CO₂排出量推移 (単位: t-CO₂/年)



各社別CO₂排出内訳 (%)



種別CO₂排出内訳 (%)



種別排出量並びに各社別排出量は次の通りです。

環境ISO14001再認証審査

6月8・9日両日、3年次の「再認証審査」を受審しました。不適合はなく、マネジメントシステムは十分に有効であるとの判定を受けました。但し、改善の機会として5件が挙げられています。



- ①フロンガス排出規制法に定められる3カ月毎のエアコン簡易点検の実施状況が確認できない。(順守プロセス)
 - ②緊急事態対応手順書の一部において最新版管理が確認できない。(文書維持管理)
- 他3件

マテリアルバランス

事業活動に伴う資源・エネルギーなどの投入量と、それに伴う地球環境への排出量を表しています。限りある資源を大切に、環境負荷を最小限にすべく取り組んでいます。

(2022年度分)

INPUT

事業に伴う資源・エネルギー等

汚泥	28,967t
がれき類	464t
ガラスコンクリ他	133t
廃プラスチック類	1,143t
金属くず類	500t
繊維くず	9t
紙くず類	17t
ダンボール紙類	611t
木くず	533t
廃酸廃アルカリ	402t
廃油	324t
鉱さい	62t
もえがら	2,182t
ばいじん	1,795t
動植物性残渣	1,445t

処理水	62,238m³
水道水	3,450m³
地下水	2,259m³

電力	404,039kWh
ガソリン	25,141ℓ
軽油	188,727ℓ
灯油	292ℓ
LPG	31m³

コピー用紙	278,807枚
-------	----------

中特グループ

OUTPUT

再資源化、地球環境への排出等

(リサイクル対象のもの)	
セメント原料	27,166t
がれき類	2,205t
ガラスコンクリ陶磁器	71t
廃プラ	519t
ペットボトル	58t
金属くず	302t
缶	45t
紙・繊維くず	79t
ダンボール紙類	611t
木くず	573t
肥料原料	36t
石膏ボード	46t
(リサイクル対象としないもの)	
汚泥焼却	214t
汚泥埋立	350t

処理排水	42,353m³
下水排水	3,334m³
地下水排水	2,182m³

CO ₂ 排出量(換算)	801t
(エネルギー及び水道使用量から算出)	

一般廃棄物	996kg
-------	-------

リサイクル率 98.2%

リサイクル率

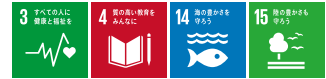
リサイクル率は下記の式で算出しております。

$$\text{リサイクル率 (\%)} = \frac{\text{直接資源化量} + \text{処理後再生利用量}}{\text{廃棄物排出量}} \times 100$$

リサイクルするもの：金属、木材、紙、プラスチック、セメント原料、肥料原料等

リサイクルしないもの：埋立処分、燃料（サーマルリサイクル）等

地域社会とともに



中特グループは、地域社会の一員として、地域社会とのかかわりを大切に、グループ全社をあげて様々な企業活動を行っています。

ボートレース徳山で開催されたグラチャンフェスティバルに出展しました

6月24日(土)・25日(日)、ボートレース徳山で開催されたグラチャンフェスティバル芝生広場にて、SDGsをテーマにした体験型ゲームブースを出展しました。二日間、ガチャ&クイズには約200名、パズルゲームには約110名の家族連れの方にお越しいただき、SDGsについて楽しく遊びながら学んでいただきました。特に18種類のマークを揃えてタイムを競うSDGsパズルは盛況で、小さなお子様を中心に多くの方に挑戦していただきました。

周南ふれあいフェスティバルの「はたらく車展」に参加しました

6月24日(土)、イオンタウン周南平面駐車場で開催された、周南ふれあいフェスティバルの「はたらく車展」にて(株)吉本興業が参加しました。
ごみ収集車へのペットボトル投げ込み体験ではお子様も興味津々で楽しんでくださった様子でした。

こどもつちゃ!商店街に出展しました

11月23日(水・祝)勤労感謝の日、徳山商店街を舞台にした一日限定の仕事体験が出来る【こどもつちゃ!商店街】に出展しました。コロナ感染拡大防止のため、今回は徳山駅前賑わい交流施設にて行われました。中特グループ店では「目指せ!ゴミの分別マスター 地球を守ろう!」と題して、環境に関する問題やごみの捨て方などを分別体験しながら、しっかりと学んでいただきました。参加キッズには地球を守るエキスパートとして今後の活躍に大いに期待しています。

ミナトのミーツに出展しました

7月16日(日)、晴海親水公園で行われた海の環境について考えるイベント「ミナトのミーツ」に出展し、海岸漂着物でつくるクラフトアート体験を行いました。本プログラムは環境省が推進する「体験の機会」で山口県から認証を受けているプログラムを簡素化したものですが、猛暑にも関わらず参加された皆さんは、熱心に海ごみ問題について耳を傾け、その後のクラフトアートも楽しまれた様子でした。



小学校での環境出前授業（通算41回）



5月26日（金）、横浜小学校にて（株）吉本興業の社員2名が環境出前授業を行いました。当日は4年生の皆さん約50名が参加され、ごみの分別について学習されました。最初にごみの分別がなぜ大切なのかを伝え、分別ゲームを実施しました。ぬいぐるみやハサミなどの分別が出題されると会場からは積極的な手が挙がり、間違いを恐れず挑戦する姿が見られました。その後は、お待ちかねのバッカー車への投げ込み体験を実施。生徒の皆さんはペットボトルを投げ込んだ後、社員とともにスイッチを押し、普段あまり目にするこないバッカー車の中身を興味津々で覗き込んでいました。

いきいきサロンへ訪問しました



2013年9月～2023年9月までのいきいきサロン訪問
・回数（延べ）134
・参加人数（延べ）3,080名

2013年9月より始めたいきいきサロンへの訪問ですが、コロナ禍においてはなかなか訪問が出来ませんでした。今年度は感染防止対策を万全にし、周南地区を中心に11ヶ所へ訪問することが出来ました。サロンでは終活セミナーやごみ分別ゲーム、シナプスロジックなどを通して参加された皆さんと楽しいひと時を過ごしました。

海岸漂着物でつくるクラフトアート体験を開催しました



体験の機会の場プログラム開催実績

- ・海岸漂着物で作るクラフトアート体験（3回）
- ・ダチヨウによる食品リサイクルループの仕組みと食品ロス（2回）

8月6日（日）、光市にて『海岸漂着物でつくるクラフトアート体験』を開催しました。絵本『プラスチックモンスターをやっつけよう！』の読み聞かせで海のプラスチックごみ問題について学んだのち、海岸に落ちている貝殻やごみを拾いアート作品を作りました。子どもたちは夢中になってそれぞれの作品を完成させていました。ごみを減らすためのワークショップでは『ごみはごみ箱に捨てる』『エコバッグを使う』などのアイデアが活発に飛び交いました。

地域清掃ボランティア活動

会社周辺の地域清掃やイベント時のクリーンアップなど、自社企画及び他団体の取り組みに継続して参加しています。

（株）リライフ企画で6月に行われる下松市笠戸島はなぐり海岸と中国特殊（株）企画で12月に行われる徳山ツリー祭りでの清掃活動は悪天候の影響で実施が叶わず残念でした。

開催日	清掃活動名	主催者
10/15	大津島（馬島）清掃	山口県釣り団体協議会
11/19	徳山公園・埠頭清掃	〃
12/24	徳山ツリー祭りボランティア【中止】	中国特殊（株）
6/ 3	笠戸島はなぐり海岸清掃ボランティア【中止】	（株）リライフ
7/15	大津島刈尾 清掃	山口県釣り団体協議会
7/23	徳山夏祭り翌日清掃ボランティア	（株）吉本興業
9/23	下松市第2埠頭岸壁・海底清掃作業	山口県釣り団体協議会



お客様とともに



中特グループは、お客様や地域に愛される企業を目指し、真にお客様の立場になったサービスに取り組んでいます。

第16回 HappyHappy勉強会

大谷徹装師「心のしくみと
幸せの条件」

6月2日(金)15時より、㈱中特ホールディングス本社(COIL)にて第16回HappyHappy勉強会を開催し、薬師寺執事長 大谷徹装様をお招きして「心のしくみと幸せの条件」という演題でお話しいただきました。当日は対面とYoutube配信とのハイブリッド式で開催し、社員のほか約90名の方よりお申込みいただき、当日は20名程の方が対面で受講されました。



大谷徹装様

「心のしくみと幸せの条件」という演題のもと、穴埋め形式のシートを手に、心の在り方やしくみを学びました。般若心経にある「観自在」という言葉、「我」の強さや謙虚さの意味、経験によっ

て心に刻まれるバーコードのような線があること、薬師寺や写経についてなど、1時間半の興味深いお話を頂きました。大谷様の講演は「命を削って話をしに来た」とおっしゃる通り、終始熱がこもっており、目に涙を浮かべて深く頷きながらお話を聴く参加者の姿も見られました。また、ユーモアに富んだエピソードも多く、度々笑い声が上がりました。講演終了後には大谷様に特別に書いていただいた色紙を手に感想を話す参加者の列ができていました。聴講後のアンケートにもたくさんコメントがあり、心に響く講演会となりました。



聴講後のアンケート(抜粋)

- ・人は孤独であるが、孤立してはいけないという言葉が特に心に響きました。
- ・自分を見ると言う事、改めて考えさせられました。人の言動にばかり目がいつていたように思います。
- ・普段から「相手に言った事が自分は出来ているのか」「仕事でも人間性や仲間意識が大事だ」と考えていたのですが、改めてこの考え方が大事だと感じました。
- ・身につまされる内容でした。いかに自分が人の話を聞いていないか…。自分を顧みる機会となりました。日々の行動に早速活かしてまいります。
- ・仕事をするにあたり、心の幸せは大事だと思います。楽しみです。



トクヤマ海陸運送株式会社様と交流会を行いました

6月15日(木)、㈱中特ホールディングス本社(COIL)にてトクヤマ海陸運送株式会社とのNEXT KAIRINKU活動推進グループの皆さんと、中特グループ品質管理委員会のメンバーが交流会を行い、改善提案などについて意見交換しました。活動をするうえでの課題や悩みなど、共通する点も多くあり大変有意義な交流会となりました。



お客様のご意見



西日本旅客鉄道株式会社
徳山管理駅長 西嶋 俊輔様

徳山駅で駅長をしております西嶋と申します。平素より当社事業に対しまして格別のご協力を賜り感謝申し上げます。さてこの度、寄稿の依頼を受け、何を書こうかと悩みましたが、貴グループからの学び及び当社の取組みを紹介したいと思います。

昨年5月、SDGsや中特ホールディングス様の地域共生に関する取組みを当社社員に対して勉強会形式にてご講義頂きました。参加した社員からは「SDGsは壮大なものだと思っていたけど、暮らしに落とし込むことにより自分達の出来ることがより明確に判り大変勉強になった」と聞いております。特に印象深かった点としてフードバンクポスト設置による食品ロス削減の取組みや廃棄野菜を餌としてダチョウを飼育され、産まれた卵を使用し

た花粉対策のど飴の開発で循環型のリサイクルをすることで未来永劫持続的な美しい地球を形成し、次の世代への橋渡しをされているとお聞きし、私たちも負けられないと感じました。勉強の成果があつてか、当社において災害等が発生した際に活用する備蓄品（水・乾パン等）の棚卸の際に社員から「フードバンクに寄贈しましょう」との発案があり寄贈させていただいた事は嬉しい成果として記憶に新しいところです。引続き、自分たちの出来ることを少しずつですが実践できればと思っております。

続いて、我々、JR西日本グループの地球環境保護の取組みについてご紹介させていただきます。

本年4月に「JR西日本グループ長期ビジョン2032・中期経営計画2025」を発表しJR西日本グループ環境基本方針を策定しました。「地球温暖化防止・気候変動対策」「循環型社会構築への貢献」「自然との共生（生物多様性・水資源の保護等）」を3つの柱を軸に「安全、安心で、人と地球にやさしい交通」と「持続可能な社会」の実現に貢献していきたいと思っています。具体的には、新型車両導入による省エネルギーの推進、再生可能エネルギー由来電力の導入や次世代バイオディーゼル燃料の実装推進等による再生可能エネルギーの活用の推進を進め、2050年のカーボンニュートラル達成に向け、グループ全体のCO2削減量を2013年度比で2025年度に▲35%、2030年度に▲50%削減。廃棄物の資源リサイクルの推進、脱プラスチックの取組みを推進し循環型社会へ貢献するとともに雨水の活用や循環水の再利用等を通じ自然との共生にも地域共生企業として取組んでいきたいと考えています。

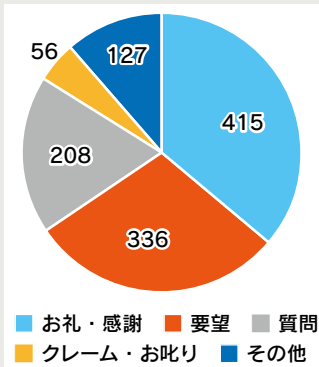
最後になりますが、貴グループの益々の発展をお祈りするとともに一緒になって地球環境や地域の発展に寄与していきたいと思っております。

苦情ゼロとお客様の声

2022年度は1,142件の“お客様の声”をいただきました。内容は左記グラフの通りです。

この内、クレーム・お叱りは56件と前年度比で33件増となっています。

2022年度はISO9001認証取得の為に発足したプロジェクトチーム（品質管理委員会・現BASE100）を中心に品質トラブルの抽出・是正の活動に注力しました。その結果として従来見逃していた“お客様の声”をより高感度で抽出することができたものと考えます。



2023年度は更に“感度”を高めるとともに、業務の仕組み改善や標準化により、クレームやお叱りといった品質トラブルを削減できるよう推進していきます。又、お礼や感謝のお言葉は「社員の力の源」として、ご要望やご質問については「会社の宝」として引き続き積極的に傾聴し、そのニーズに添えていきます。

社員とともに



中特グループは、「すべては、応援からはじまるの精神で接する」という社員に関する方針を掲げ、社員は会社にとって一番大切な存在で、社員とその家族を守る事を最大の目標とし、事業拡大よりも優先します。

2023年度事業発展計画発表会

テーマ： 「凡事徹底」

8月26日（土）に2023年度事業発展計画発表会を遠石会館にて行いました。
今年も新型コロナウイルス感染症対策を十分に実施し開催しました。

会長 吉本英子より

全社員への労いと感謝の気持ちを伝えるとともに、過去の失敗から学ぶ重要性を述べました。そして、これからもより良い結果を追求するために、経験から学び続けることが大切であるとの話がありました。

CEO 橋本ふくみより

2022年度総括及び経営地図の説明とともに、本年度のテーマである「凡事徹底」が日常の業務において細部まで手を抜かず徹底的に取り組むことを意味し、これが大切なポイントとし成長に欠かせない要素として強調しました。そして、この一年間を改めて土台作りのための期間と位置付けるとの話がありました。

各社経営計画発表

中国特殊(株)	吉本龍太郎
(株)藤井興業	大山 隆
(株)吉本興業	吉本 妙子
(株)ポータルハートサービス	篠田 直美
(株)リライフ	江村 範久



ご来賓のごあいさつ

株式会社日本政策金融公庫	下関支店 中小企業事業
融資第二課 課長	塩谷 泰司様
株式会社山口銀行	徳山ブロック
ブロック担当部長	安田 雅典様
株式会社西京銀行	支店長 周南支店
支店長	吉積 正悟様
株式会社広島銀行	執行役員
徳山支店長	中井 高志様

表彰

◆最優秀部門賞

(株)リライフ



◆永年勤続表彰

30年勤続 花本 隆
山田 茂一
岩井 勝己



個人表彰

今年も各社で活躍した社員への個人表彰を行いました。懇親会にて吉谷専務から賞状と金一封が授与されました。

表彰者…桐畑静香さん(㈱中特ホールディングス)

表彰名…サポートありがとう賞

静脈産業と言われる私たちの中特グループの業務の中で、さらに社内の静脈部分の要として、書類の作成から確認、部下の育成までサポートありがとうございます。これからも、その名の通りCS営業部で静かに香る存在でいて下さい。

表彰者…森野誠さん(中国特殊㈱)

表彰名…笑顔がとても素晴らしいで賞

どんな時も、にこやかに職場の雰囲気盛り上げ和ませてくれました。

表彰者…河村久美さん(㈱吉本興業)

表彰名…縁の下の力持ちで賞

小さな事も気が付いてくれて事業部内の日々の安定操業に大きく貢献してくれてとても助かっています。いつもありがとうございます。

表彰者…藤本翔二さん(㈱リライフ)

表彰名…極めたで賞

新しく配属された脱分施設で1年の間に仕事を極めるために、上司への報連相を怠らずやり遂げました。

表彰者…相本美代子さん(㈱ポータルハートサービス)

表彰名…正直No.1で賞

相本さんはいつでもどんな時でも誰に対しても、正直で誠実な対応をしてくれます。これからもよろしくお願いします。



4年ぶりの懇親会

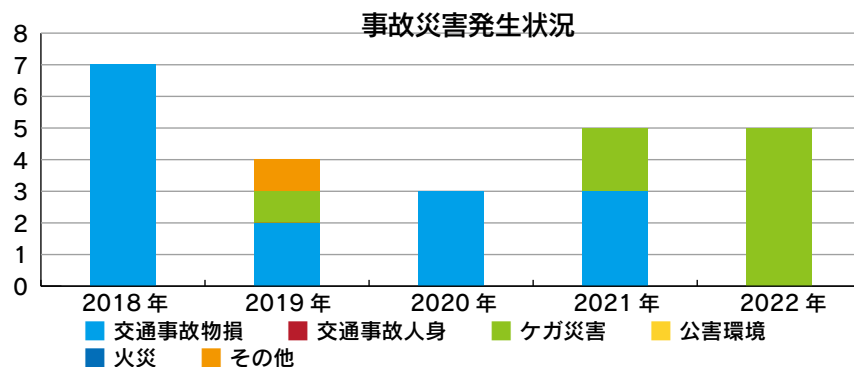
コロナによる行動規制も解除されたこともあり、社員一同に会しての懇親会が4年ぶりに開催されました。4年ぶりという事もあり、くじ引きやじゃんけん大会などのアトラクションで会場は大いに盛り上がりました。



事故災害ゼロをめざして



「安全衛生・防災はすべてに優先する」考えのもと、事故災害”ゼロ”を目指してグループを挙げて、各管理者・安全衛生委員を中心として安全衛生防災活動に取り組んでいます。



2022年度5件の交通物損事故・不労災害が発生してしまいました。休業災害の発生はありません。

事故災害発生状況

	内 容	原 因
①	事務所階段を踏み誤り転倒、そのまま階下まで転げ落ちた。頭部打撲、擦り傷	照明が暗く見えづらかった、手摺を持たずに昇降していたこと。普段使用している階段であり、油断していた。
②	ユニック車荷台で発電機を移動中、荷が揺れ、傍らにいた被災者があおりに引っ掛かり転落した。左手中指骨折	作業前の打合せが不足していた。(操作者、被災者とも) また、補助員の立ち位置も適切ではなかった。
③	個人宅お片づけ作業中、プラスチックの引出しを外した際にプラスチックが割れて破片が下脛にあたり負傷した。	作業終了時間が気になり焦っていた。無理な力をかけた。(簡単に割れると思っていなかった)
④	浄化槽排水ポンプフロート交換の為に配線の皮むきを行った際、カッターナイフの刃が滑り、左手を切創。	カッター作業に不慣れ。左手をナイフ進行方向の前に置いていた。指導やKYが十分に行われていなかった。
⑤	委託回収中、ごみ回収後に次のステーションに向け小走り移動、道路の段差に躓き転倒した。足首捻挫	現場は若干の上り坂、疲れもあったと推察される。

BCP（事業継続力強化計画）

2021年12月に中特グループでは(株)中特ホールディングス、中国特殊(株)、(株)藤井興業、(株)吉本興業、(株)ポータルハートサービス、(株)リライフの全6社で経済産業省中小企業庁より「連携事業継続力強化計画」の認定を受けました。2022年度はこれらの計画を具現化する為の活動を実施しました。

今後も防災・減災に向けて取り組んでまいります。

非常用備蓄品の保管

万一の地震、台風、豪雨等に備えて、飲料水・非常食・毛布その他の必要なものをリストアップして保管しています。中特グループ100人が、いざという場合に3日間過ごすことができるよう、BCPの一環として備蓄を行っています。

安否確認

アンケート訓練

中特グループでは全社員がスマホ活用により、LINEWORKSのアンケート機能を利用した安否確認訓練を継続して実施しています。

震度5以上の地震が発生したことを想定し、3ヶ月に1回の訓練を行っています。従来のメールやTELを利用したものと異なり、グループ全員の情報を共有できること、短時間で確認できるのがメリットです。

今後も訓練の内容を精査しながら継続し、万一の事態に備えていきます。

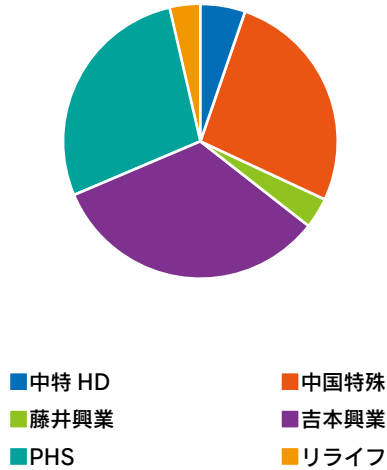


ヒヤリハット摘出と対策活動

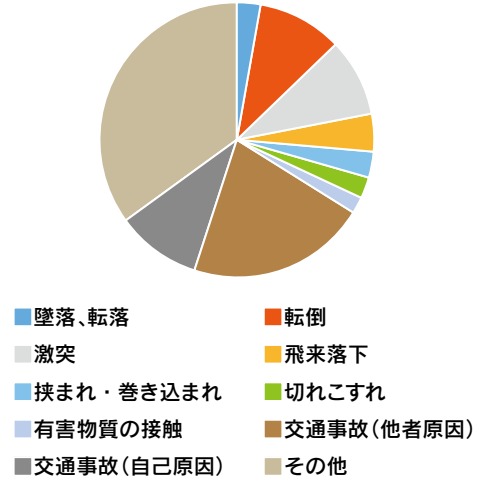
ヒヤリハットの摘出と対策を実施しています。

2022年度グループ合計で1,908件のヒヤリハットを摘出し、分析と対策を実施しました。「ヒヤリハットのうちに対処する」ことで事故災害を未然に防ぐべく活動をしています。内容は次のとおりです。

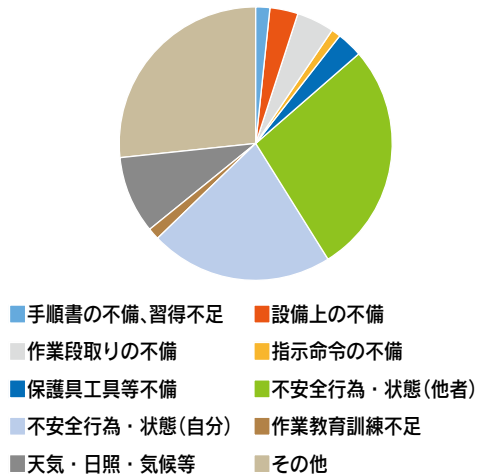
部門別提出状況



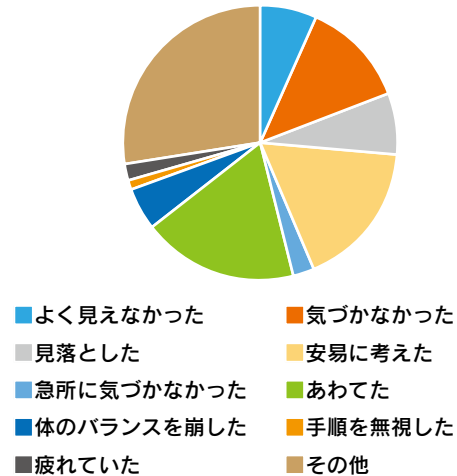
事故災害の型別分類



管理・設備上の要因



人的及び状況環境要因



リスクアセスメント活動

事故災害を撲滅する手段の1つとしてリスクアセスメント活動に継続して取り組んでいます。

リスクアセスメント講習修了者並びに管理者を中心に全員参加で取り組んでいます。毎年作業のリスクを見直し、①リスクを低減する手段はないか②新たなリスクはないかをグループメンバーで討議し、安全レベルの向上を図っています。

安全ISO45001 サーベイランス審査

6月5日・6日、1年次のサーベイランス審査を受審しました。不適合はなく認証継続・維持されました。但し、改善の機会として8件が挙げられています。

改善の機会

- ① リスクアセスメントの変更点が該当する手順書に反映されていない。
 - ② 有機溶剤種別標識の掲示方法に改善の余地。
 - ③ リスクアセスメントの危険源特定、リスク分析、改善策等に検討の余地。
 - ④ 部門目標実行計画シート上の施策の目標値について検討の余地。
- 他4件



各種訓練

AED救命講習会

11月5日（土）、中国特殊(株)会議室にて「AED救命講習会」を開催しました。

当日は周南市消防本部から講師を迎え、27名が約1.5時間の講習を受け、「命を救うため」の初期救命の大切さを学び、真剣に実技に取り組みました。万一の際に「動ける社員」が27名増えました。



COIL 消防訓練

本社（COIL）は不特定多数の方々が利用されるため特定防火対象物となっていることから、防火管理者の選任と消防訓練が義務付けられています。本年度も6月13日に消防訓練を実施しました。



緊急事態想定訓練

万一の事故災害を想定した緊急事態想定訓練を1回/年実施しています。



(株)リライフ 薬物漏洩緊急事態訓練

中国特殊(株)誘導訓練

中山間地の道路や狭小道路に行くことが多く、定期的に誘導訓練を実施しています。誘導は中特グループ車両運転における基本です。



(株)吉本興業アームローダー操作訓練

コンテナの脱着、入替など熟練した技能の必要なアームローダー操作訓練を実施しています。



JBK(事故撲滅研修) &なぜなぜ分析

JBK(事故撲滅研修)

中特グループの現業部門では月1回以上独自にJBK(事故撲滅研修)を実施しています。

実際に起こった事故のケーススタディや安全ルール認識テストなどを行い、文字通り「事故撲滅」を目指した研修内容です。



(株)吉本興業JBK



(株)リライフJBK

なぜなぜ分析

中特グループでは、事故・災害や重大なヒヤリハットが発生した場合は速やかに「なぜなぜ分析」を行います。

1次要因から3次要因(真因)を掘り下げ、有効な対策を検討することで、類似の事故・災害の防止に努めます。



中国特殊(株)JBK & なぜなぜ分析

安全相互パトロール& 産業医職場巡視

安全相互パトロール

現業部門に対し1回/月の安全パトロールを相互に実施しています。

他職場の異なった視点から見た問題点や改善点を探します。



産業医職場巡視

毎月1回の安全衛生委員会の開催日に併せて、産業医による職場巡視を実施しています。照度・換気・作業環境・粉塵など専門家の視点で指摘いただき、改善を図っています。

【産業医職場巡視記録】

●日時 2023年9月11日(月) 15:00~15:40
●巡視者 山本産業医 同行者:岩崎
●対象職場 中国特殊

●内容・気づき等

- 事務所 マシジメング 太陽光が眩しいのではないかな? ⇒ 濃いめのスモークを貼る等の対策要。
- 事務所 奥の倉庫? 段差を埋めたほうがよいのでは?
- 倉庫等のSSはできています。
- 倉庫内のSDS 全て揃っているか? 作業着レベルに周知は図られているか?
- 現場に薬品洗浄用の水を持参している ⇒ Good!
- 倉庫内の容器(内容物不明) ⇒ 内容物を表示をする、もしくは廃棄
このような使い方はNG!

安全相互パトロール気づきメモ

【リライフ】

●実施日 2023年7月27日(木) 13:50~14:20
●参加者 宮本妙子、久保 智、高松めぐみ、熊本貴史、野村智治、藤井一雄、森野 誠、松村 隆、近岡(監修)
●対象 中国特殊
●対象 中国特殊(リライフ/事業部)、経理専任、石井貴大、熊本隆二
●内容

問題事項	写真	アドバイス等
不用品が散らばっている。	① 倉庫前 (待機室前、倉庫前) ② 倉庫前 (アスファルト) ③ 倉庫前 (アスファルト)	商品などの不用品などは、定期的に清掃する。 不用品は速やかに撤去されてはどうか?

健康増進活動

「やまぐち健康経営企業」

認定継続

定期健康診断並びに健康診断フォローアップの全員受診、その他の健康管理増進活動に取組み、認定を継続しています。

感染症対策

新型コロナウイルスやインフルエンザ等の対策については、当初より情報収集と行政の方針指導に従い、BCPの見直しにより、感染防止対策を修正・対応してきました。グループ社員や家族内での感染はありましたが、業務への影響を最小限に押さえることができました。

新型コロナウイルスについては2023年5月より第5類に移行され、各種の制限は解除されましたが、今後も「公衆衛生関連業務」を担うエッセンシャルワーカーとしての自覚を忘れず行動していきます。

第3者意見



公立大学法人 周南公立大学
理事長・学長

高田 隆様

株式会社中特ホールディングス(中特HD)のCSR報告書であるThink of Nextを毎号送っていただくとともに、周南公立大学と中特HDとは様々な場面で連携させていただいており、そのCSR/CSV活動には日頃より敬意を表しているところです。この度、中特HDのCSRに関する第三者意見の執筆依頼をいただき、改めてCSR報告書を過去に遡って拝読するとともに、企業イメージ動画や報道記事を通覧させていただきました。以下に中特HDのCSRに関する意見を述べさせていただきます。

Think of Nextでは、毎号一貫して、巻頭に企業理念をあげられ、次いで、CSRの主要要素である環境、顧客、地域社会、職場、社員、事故災害に対する取り組みが中核課題として、紹介されています。また、報告書にはその時々の特集やトピックスが取り上げられ、大変興味ある内容となっています。巻末には、公正な事業と組織運営のための経営執行組織体制がグループ各社の概要とともに記載されており、中特HDのCSRがよくわかる報告書となっています。

CSR報告書Vol.4 (2016年)からはNext 15 Targetsが加わり(Vol.8からはNext 17 Targets)、上記の中核課題を含めた環境や経営に関する目標と実績が定量的に示されています。中特HDが企業として発展する姿とともに、地域の持続的発展に大いに寄与していることが可視化されています。また、顧客や地域社会とのコミュニケーションのみならず、社員の幸福と多様性の促進にも力を入れ、社内文化の向上に取り組んでおられる様子もよく読み取ることができます。ステークホルダーの意見を企業経営に幅広く取り入れたこれらのCSR活動は高く評価されます。

YouTubeにアップされている企業イメージをまとめた動画では、事業紹介のみならず次世代育成のための活動や価値創造に関わる挑戦など、ビジネス以外の様々な取り組みについてもわかりやすく紹介されています。5.7万回の視

聴回数は、中特HDのCSRに対する社会からの高い関心と評価を示すものと考えます。CSR/CSVを牽引されている橋本CEOをはじめとする経営陣の皆様方の「志」とともに、CSR活動を報告書や動画に体系的かつわかりやすく取りまとめられたCSR推進室の方々の企画力とご尽力に改めて敬意を表します。

CSR活動の視点として他の企業や団体と協力し、CSRプロジェクトを推進することが重要です。この点においても、中特HDは産学連携を含めた様々な連携を進めています。その一つとして、令和5年3月29日に中特HDと周南公立大学は地域における持続的な価値の創造と提供に関する包括連携協定を締結させていただきました。中特HDは「生活環境革命で人々を幸せにする」という使命のもとで、社会貢献や未来創造でリーダーとなることを目指しています。一方、周南公立大学は「地域の持続的発展と価値創造の成長エンジンになる」ことをミッションとして、地域貢献大学としての役割を強化しています。ベクトルを同じくする両者が協働することは、地域の発展や地域の方々のWell-being向上にとって、大きな意義を有すると考えます。既に、本学のパートナー企業として学生のインターンシップを受け入れていただいたり、COIL(Chutoku Open Innovation Lab.)におけるアントレプレナー教育など、中特HDの皆様には様々な学びの機会を提供していただいています。地域の環境課題の解決や資源循環の仕組み構築、地域の活性化につながる教育などの幅広い分野で、中特HDと周南公立大学が連携させていただくことで、地域の活性化ならびに発展に貢献できるものと確信しています。

サーキュラーエコノミーが注目を集める中、静脈産業の重要度がますます増えています。静脈産業には多様なビジネスモデルが含まれます。中特HDが「生活環境革命で人々を幸せにする」という志のもとで、様々な事業と連携を展開され、今後さらなる発展されますことを期待しています。

第3者意見を受けて

ご多忙にも拘わらず、ご意見を賜りましてありがとうございます。周南公立大学様との包括連携協定締結により、地域における持続可能な価値の創造と提供の活動を進める強力なパワーをいただきました。今後も協働して地域社会の環境課題の解決、活性化ならびに発展に貢献できるよう鋭意尽力してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

CSR推進室 岩崎 達美

公正な事業と組織運営のために

経営執行組織図

SS会議 役員会議

ワクワク会議 部長会議

チャレンジ会議 目標進捗会議

(株)中特ホールディングス

未来創造部

CSR推進室

総務管理部

購買部

CS営業部

設立：平成24年4月
代表者：橋本ふくみ
資本金：3,000万円 社員：28名
事業内容：中特グループ各社の経営企画・総務・営業・環境安全に関する業務

エコライフチーム

環境安全衛生委員会

品質管理委員会

改善提案委員会

中国特殊(株)

エコ事業部

- ・SBグループ
- ・eクリングループ
- ・HOSグループ
- ・マネジメントグループ

設立：昭和41年2月
代表者：吉本龍太郎
資本金：2,000万円
売上高：690百万(2022年度)
社員：32名
事業内容：
一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業
下水道維持管理業、建設業
解体業、浄化槽保守点検業

(株)藤井興業

設立：平成5年4月
代表者：大山 隆
資本金：1,000万円
売上高：56百万(2022年度)
社員：5名
事業内容：
一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業
貯水槽清掃業、浄化槽保守点検業

(株)吉本興業

環境事業部

- ・スマイルグループ
- ・マネジメントグループ

設立：昭和41年2月
代表者：吉本妙子
資本金：1,000万円
売上高：249百万(2022年度)
社員：25名
事業内容：
一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業

(株)ポータルハートサービス

宇部営業所

設立：平成30年8月
代表者：篠田直美
資本金：1,000万円
売上高：94百万(2022年度)
社員：13名
事業内容：
遺品整理事業
各種片付け

(株)リライフ

リサイクル事業部

- ・リサイクルグループ
- ・再資源化グループ
- ・マネジメントグループ

設立：平成元年2月
代表者：橋本ふくみ
資本金：9,500万円
売上高：844百万(2022年度)
社員：21名
事業内容：
産業廃棄物収集運搬業
産業廃棄物処分業、リサイクル事業



まちと未来をキレイにする仕事。

Chutoku Group

株式会社 中特ホールディングス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3034-1
TEL:0834-25-0606(代表) FAX:0834-25-0607
[東京営業所]
TEL:03-5926-4030 FAX:03-5926-4040

中国特殊株式会社

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-26-0500 FAX:0834-25-2856

株式会社 吉本興業

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3044-2
TEL:0834-25-0423 FAX:0834-25-2939

株式会社 リライフ

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-33-8685 FAX:0834-25-2856
[下松リサイクル工場]
〒744-0002 山口県下松市東海岸通り18-1
TEL:0833-44-0007 FAX:0833-44-1007

株式会社 藤井興業

〒746-0017 山口県周南市宮の前2-2-12
TEL:0834-63-1294 FAX:0834-25-2856

株式会社 ポータルハートサービス

〒745-0801 山口県周南市大字久米 3078-1
TEL:0834-33-8100 FAX:0834-25-2939
[宇部営業所]
〒755-0045 山口県宇部市則貞2-11-1-208



アンケートはこちらから